

# 第1学年〇組 社会科学学習指導案

令和7年〇月〇日 〇曜日 第〇時

指導者 〇 〇 〇 〇

## 1 単 元 古代までの日本と世界

### 2 単元の目標

- (1) 古代までの日本の大きな流れについて、世界の歴史を背景に、時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関するさまざまな情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けることができる。
- (2) 古代までの日本に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などについて、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的・多角的に考察したり、思考したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を身に付けることができる。
- (3) 古代までの日本に関わる諸事情について、そこで見られる課題を主体的に追究しようとする。

### 3 学習の計画 (19 時間完了)

第1次	第1時	人類の誕生から古代までの日本と世界の動きを大観し、単元の学習問題をつかみ、学習計画を立てる。
第2次	第2時～第6時	人類の誕生や世界の古代文明、宗教の起こりについて調べる。
	第7時～第9時	日本列島に人が住み始めたことからヤマト王権の成立までを調べる。
	第10時	「よろいを着た人物のなぞ」について調べる。
	第11時	東アジアの統一国家について調べる。
	第12時 (本時)	聖徳太子と飛鳥文化について調べる。
	第13時	律令国家の成立について調べる。
	第14時～第18時	律令国家の政治の展開について調べる。
第3次	第19時	単元のまとめをして、学習を振り返る。

### 4 本時の学習指導

- (1) 目 標
  - 蘇我氏や聖徳太子が進めた政治の特徴を捉え、どのような国づくりを目指したのかを考えたり、説明したりすることができる。
- (2) 準備・資料
  - 生 徒……前時までのワークシート、資料集
  - 教 師……ワークシート、スクリーン
- (3) 関 連
  - 小6 社会 天皇を中心とした政治（天皇中心の社会が確立するまでの人々のくらしや人物の働き、日本と海外との関わりについて調べる）
- (4) 学習過程

段階	学 習 活 動	時間	指 導 上 の 留 意 点
つかかむ	1 本時の学習課題をつかむ。 (1) 聖徳太子が行った政治について、小学校の学習内容を振り返る。 ・ 法隆寺を建てた。 ・ 遣隋使を派遣した。 (2) 本時の学習課題をつかむ。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">             蘇我氏や聖徳太子が進めた政治には、どのような共通するねらいがあるのだろう。           </div>	5	<ul style="list-style-type: none"> <li>○ 聖徳太子が行った政治について、知っていることを発表させる。</li> <li>○ 蘇我氏や聖徳太子が進めた政治に関わる資料をスクリーンに提示し、気付いたことや疑問に思ったことを問い、本時の学習課題の設定につなげる。</li> <li>○ どのような国づくりのための制度や事業だったのかに着目し、比較して考えていくことを確認し、学習課題の解決の見通しをもたせられるようにする。</li> </ul>
追究する	2 蘇我氏や聖徳太子の政治の特色や文化の特徴を捉える。 (1) 蘇我氏や聖徳太子が行った国内政治について調べる。		<ul style="list-style-type: none"> <li>○ フィッシュボーンチャートが書かれたワークシートを用いてまとめていく。</li> <li>○ 中項目に、「内政」「外交」「文化」「中国の政治」に分けてまとめる。</li> </ul>

追究する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・冠位十二階の制度や十七条の憲法により、儒教や仏教の思想を取り入れたり、天皇の力を強める体制づくりを進めたりした。</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>○教 P. 42～43 の資料 1～5 を活用して、蘇我氏や聖徳太子の国内政治と対外政策のそれぞれの特徴や政策の意図をつかませる。</li> <li>○教 P. 43 の資料 7 と「スキルUP」を活用して、蘇我氏や聖徳太子の関係を読み取らせる。</li> <li>○生徒の気付きや疑問に応じて、新たな資料をスクリーンに提示したり、調べることを焦点化したりする。</li> <li>○教 P. 43 の資料 5 を活用して、6～7 世紀初めの日本と東アジアの動きを時系列で捉えさせる。</li> <li>○教 P. 43 の資料 6、8～9 を活用して、日本と海外の作品を比較して、飛鳥文化の特徴を捉えさせる。</li> <li>○隋や唐の中国統一などの海外情勢が倭国に与えた影響を踏まえ、仏教を積極的に取り入れた理由を考えさせる。</li> <li>○板書を基に、政治と文化の特徴について分かったことを確認させる。</li> </ul>
	(2) 遣隋（唐）使の派遣の意図について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・小野妹子らを遣隋使として派遣し、隋と国交を結び、新しい政治や文化を取り入れようとした。</li> </ul> (3) 飛鳥文化について調べる。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・法隆寺           ・四天王寺</li> <li>・釈迦三尊像   ・玉虫厨子</li> </ul> (4) 飛鳥文化の特徴と政治との関わりについて考える。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・中国や朝鮮などの文化の影響を受けた、日本で最初の仏教文化である。</li> </ul>	30	<ul style="list-style-type: none"> <li>○フィッシュボーンチャートでまとめた各項目の特徴を比較して、共通する点や政治のねらいは何かを考えさせる。</li> <li>○記述した内容について友達と共有し合い、よりよいまとめを考えさせる。</li> </ul> 評 それぞれの内容を比較しながら、共通点を見つけ、その理由を考えている。 (ワークシート)
	3 蘇我氏や聖徳太子の進めた政治に共通するねらいを考える。           (1) 自分の考えをまとめる。 (2) 友達と考えを共有し合う。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・隋が中国を統一する中、大陸の新しい政治や文化を取り入れ、国の仕組みを整えることが共通したねらいであった。</li> </ul>	45	<ul style="list-style-type: none"> <li>○振り返りで書かれた内容については、次時の学習につなげさせる。</li> <li>○次時の内容に関わる資料をスクリーンで提示して予告をする。</li> </ul>
まとめ	4 本時の学習を振り返り、次時の活動について知る。 <ul style="list-style-type: none"> <li>・国の土台をつくるのに、中国や仏教の影響が大きく関わっていることが分かった。</li> </ul>	50	

(5) 本時の評価規準

- 蘇我氏や聖徳太子が定めた制度や進めた事業の共通性に着目し、そのような政治を行ったねらいについて、自分の言葉で説明している。  
(ワークシート)

## 5 備 考

(1) 学級の実態

- 生徒の多くは毎時間の学習課題を的確に捉え、歴史的な見方・考え方を活用して追究しようとするが、社会的事象の「比較」では表面的な理解に留まってしまうことがある。

(2) 指導の力点

- フィッシュボーンチャートを用いて、蘇我氏や聖徳太子が進めた政治や文化の特色をまとめることで、政治や文化の共通点や中国との比較を分かりやすく図式化して着目できるようにする。

## 6 指導と評価